



部門賞 パートナーシップ部門

選考委員からのコメント



楠本 浩史氏

単なるリサイクルではなく、こども園等の多様なプレイヤーも巻き込んだ取組である点を高く評価しました。今後廃プラスチックをリサイクルしていくことが求められる中で、地域貢献、保護者への波及も含めた環境教育効果が認められる点も特徴的です。



山本 由加氏

静岡の誇る地域産業であるプラモデルを通じて、モノを廃棄するのではなく新しい価値を付加して循環させる、これからの創造のあり方を子ども達に具体的に伝えていきます。このような取組の積み重ねが再生プラスチックの本格的な社会実装に繋がることを期待します。

SDGsインパクト



【ターゲット 4.7】

すべての学習者が持続可能なライフスタイル等の教育を通して知識とスキルを確実に習得できる

再生プラスチックから制作された教育支援プラモデルを用いて、幼児と保護者が静岡市の文化に触れ、遊びながら環境についても学ぶことができる。



【ターゲット 12.5】

廃棄物の発生を再生利用等により大幅に減らす

再生プラスチックの利用を通じ、廃棄物の抑制と「再利用」の意識づけを普及啓発する取組となっている。



【ターゲット 17.17】

効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する

地域の企業・団体が連携して生まれた環境教育プラモデルに幼少期から触れることで、環境への配慮やサステナブルな取組への思考を深め、長期的に人材を育成する取組としても評価できる。

環境配慮型教育支援プラモデルによるマテリアルリサイクル促進プロジェクト

一般社団法人しずおかビジョン研究所 × 株式会社西商店 × 株式会社青島文化教材社 × 学校法人鷺巣学園（幼保連携型認定こども園 梨花幼稚園）

1.取組概要

国をあげて取り組んでいるプラスチックの資源循環促進に貢献と、「ホビーのまち静岡」が誇る工芸文化に幼児期から慣れ親しみ郷土愛を育むことを目的としています。廃家電による再生プラスチックで制作した環境配慮型の教育支援プラモデルを使用し、就学前の幼児と保護者が共同で環境について学び、静岡市の文化を体験することで、人財育成と持続可能な社会の構築、地域活性化を目指します。

2.該当するSDGs目標



静岡市が世界に誇るプラモデルを活用し環境教育を実施することで、家庭等で環境問題やSDGsについて考える機会を提供し、循環型社会実現に貢献します。

その他関連するSDGs目標



3.目標に対する達成状況、実績

これまで、累計約100kgの再生プラスチックを有効活用してきました。この結果、本来廃棄物として処理されるプラスチックの削減に加え、一般のプラスチック製造に発生する石油などの化石燃料、原料調達コスト、二酸化炭素排出量などを削減できたこととなります。今後もSDGs目標12（12-5）である廃棄物の発生防止に資する取組として継続していきます。

5.取組が開始されたきっかけと展開

世界的にプラスチックの資源循環を促進する重要性が高まり、日本でも「プラスチック資源循環戦略」を策定以降、2022年4月1日から通称「プラ新法」（プラスチック資源循環促進法）が施行され、各企業・自治体において新たな取り組みがスタートしてきました。今後は各家庭においてもより一層に環境問題への意識を高めていくことが必要で、その普及啓発に取り組もうと思ったのがきっかけです。「プラモデル」（「プラスチックモデル」）はその名の通り、主にプラスチックで構成されており、各社でも創意工夫がされています。幅広い世代に親しまれている「プラモデル」を活用して、幼児と保護者に環境教育を実施することで、一時的でなく長期的な効果を期待するとともに、日本が世界に誇る文化を持続可能にしていけることを目指しています。

6.応募した取組の今後の計画・展開

今後は静岡市の出前講座も活用しながら継続的に学校法人鷺巣学園と協働で環境教育への取り組みを進めていくとともに、この取り組みの輪が広がっていくよう情報発信に取り組んでいく予定です。



4.取組イメージ



7.汎用性(他の事業所・団体が参加・真似しやすい)ポイント

再生プラスチックは通常のプラスチックより費用や強度面等で課題があるため、まだ導入に踏み切れていない企業も多くあります。今回の取り組みは、技術的なハードルは高くないため、他の企業・団体も導入しやすく汎用性は高いと考えます。SDGs達成に向けて一人一人が意識して行動していくことが定着されつつあることから、売り手・買い手で環境に配慮した製品に理解されることで、各課題も次第に解消されていくものと思います。今後は、各家庭で環境教育を学べるプラモデルキットの販売も検討し継続的に機運を醸成していくことで、環境問題への輪が広がっていくことを目指していきます。

